

日本臨床検査専門医会 2026 年度 第 1 回理事会議事録

開催日時：2026 年 4 月 25 日（土）15 時 00 分～17 時 00 分

場 所：日本臨床検査専門医会事務局・Zoom による Web 会議

出席者：（現地出席）

山田俊幸理事長、田部陽子副理事長、増田亜希子（会計担当）、鯉渕晴美、
金子誠 各常任理事

谷直人、菊池春人 各監事

（Web 出席）

村上正巳（庶務担当）、伊藤弘康、松下一之、山口宏茂 各常任理事

幸村近、植木重治、浅井さとみ、上岡樹生、北中明、橋口照人 各理事

欠席者：今井裕理事

事務局：大和田有美子

Web 会議システムにより、出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、的確な意見表明ができることが確認されたため、定刻、山田理事長は議長となり、開会を宣し、議事に入った。途中音声が途切れることなく、つつがなく議事は進行した。

<報告事項>

1. 各種委員会報告（前回理事会以降）

1) 情報・出版委員会

金子委員長より、添付資料 1 に基づき報告があった。

JACLaP NEWS 次号は、中山智祥先生の巻頭言を掲載予定であり、原稿を依頼済である。臨床検査の提言は次号まで寄稿者が決まっており、今後も名誉会員の先生を中心に依頼をしていく。Lab CP 44 巻 1 号は 2026 年 6 月に発行予定。44 巻 2 号は第 5 回年次大会の特集となる予定であると報告があった。

審議事項として、要覧の作成について、会員マイページで検索する方向であるが、資料の通り、氏名、年齢、専門医取得、研究領域、所属機関の属性、地域、などで検索をするように計画している。目的としては、講演や、教育セミナー講師などを探すことを、想定している。年齢に関しては検索キーとしては省いたほうがよいという意見が多かった。専門医会の企画として「若手医師の検索」などが必要な場合は、事務局に問い合わせることとする。また、年齢がわからなくても、専門医番号がわかれば、キャリア歴が予想できるため、専門医番号は検索キーとする。年齢以外はデフォルトで、出たくない項目は非表示選択ということで案内する。松下常任理事より、現在、取得有無しか選択肢がないが、取得予定、取得中なども選べるとよいのではないかという意見があった。また、情報の更新の呼びかけを定期的にしたほうがよいという意見が出た。上記の方向性で会員マイページ検索機能追加を推進することで意見が一致した。

2) 教育研修委員会

鯉渕委員長より、添付資料 2 に基づき報告があった。

2026 年度教育セミナーはオンデマンド配信形式で開催予定である。臨床検査専門医会および臨床検査医

学会 Web サイトに参加募集要項を掲載済みであり、現時点で 43 名の申込がある。準備も粛々と進んでおり、セミナー講師の方への謝辞が述べられた。次に、第 5 回年次大会中に開催する専攻医支援企画について、準備状況が報告された。現時点での申込は 18 名であり、専攻医のみならず指導医クラスの先生からも申込がきている。2 部構成となっており、RCPC の開催後、各テーマ別のブースを回っていただく予定である。会場について、資料の図と写真を示し、5 つのブースの設置について説明した。なお、和やかな雰囲気で行いたいという委員会の意向があり、茶菓を用意する。5,000 円未満なので教育研修費で支出を予定している。なお、現地参加できない専攻医からこの企画をオンデマンド配信できないかという問い合わせがあった。性質上、オンデマンド配信は不可能である旨を伝えたが、例えば、合格者への相談ブースなどでフィードバック可能な案件があった場合は、別の機会（教育セミナー受講者と合格者のつどいなど）に、紹介することを考えている。また、他のブースで参加者から出た質問と回答を教育研修委員会担当者にメモしておいてもらい、それを公表することも検討している。

3) 資格審査・規定改定委員会

田部委員長より、添付資料 3 に基づき報告があった。前回理事会以降、13 名の新入会員を審査し、全員承認、理事長へ承認依頼をした。教育セミナー受講のための入会者となっている。昨日さらに 1 名の入会申請があり、メール審議中である。

2. 第 5 回年次大会準備状況

松下大会長より、添付資料 4 に基づき報告があった。施設が学校であるため、前日夕刻より千葉大事務局と専門医会事務局で会場設営をする予定。プレナリーセッションの講演がビデオレターに変更になったため開始時間を変更した。その他、プログラム・講演内容は資料に示した通りである。2 会場を使い、多くの講演、シンポジウムを準備している。また、会場の特性を生かして、専攻医支援企画や墨田区民無料健康相談の企画を予定している。初日の夕方には情報交換会、2 日目の閉会後に屋形船ツアーを開催する予定。参加申込数は昨日時点で、131 名（うち非会員 21 名）、現地参加は両日とも約 90 名。オンデマンド配信のみは、38 名ということで想定より少ないと感じている。山田理事長より、参加人数を増やす方策として、もう一度臨床検査医学会から案内を流してもらう提案があった。松下大会長が文案を考え、山田理事長から、臨床検査医学会理事長に依頼をする。さらに、非常に濃い内容の講演が多いため、臨床検査薬協会を通し、企業へ案内を予定したいと申し出があり、松下大会長は是非お願いしたいと述べた。村上常任理事も同意するとの意見が出た。〆谷監事からは、日本臨床衛生検査所協会へ声掛けをするとの発言があった。協議の上、臨床検査薬協会、衛生検査所協会から紹介された企業の社員の方の参加費は、賛助会員企業の方と同じ 7,000 円とすることになった。

3. 第 73 回日本臨床検査医学会学術集集中行事

山田副理事長より、添付資料に基づき報告があった。臨時社員総会後の講演会について、群馬県看護協会訪問看護ステーションの山路聡子先生に医療制度に関する話をしていただくことを依頼済みである。本講演は専門医共通講習 B「医療福祉制度 1 単位」を申請予定である。共催シンポジウムの資料・演者・座長は資料に示す通りである。4 名の演者を予定しているが、現在、市中病院で中核となって頑張っている若手 2 名と、産業医から臨床検査部の取りまとめに 1 年前に転身し課題を抱えるベテラン医師 1 名、もう 1 名もベテランで病院の副院長を兼任し、経営の面、あるいは超音波検査、生理機能検査の面から話をしていただく。このように、現在市中病院で臨床検査医がほぼ一人の状態活躍されている先生方

に講演をしていただき、ディスカッションの時間も作りたいと思っていると、報告があった。領域講習の単位を申請する予定である。

＜審議事項＞

第一号議案 2025 年度決算・事業報告の承認

増田会計担当常任理事より財務報告があり、予算差異や赤字の要因が説明された。併せて、現在の試算についても資料で示した。山田理事長より、支出を減らすために講演依頼をなるべく会員にする、収入を増やす方法として、名誉会員の率を減らすために選定基準を厳しくするなど今後検討していく必要があるとの意見が出た。続いて、村上庶務担当常任理事より事業報告がなされ、議長が議場に諮ったところ、いずれも満場一致で承認された。監査についても菊池監事より報告があり、問題なしとされた。

第二号議案 共催ランチョンセミナー開催について

増田常任理事より今年度開催される第73回日本臨床検査医学会学術集会中に、昨年に引き続きランチョンセミナーを開催することについて提案があった。今年も企画をすることについて、議長が議場に諮ったところ異議なく承認された。企画後、臨床検査医学会に提案をしていく。

第三号議案 社員総会の招集

山田理事長より、5月の第5回年次大会時に、2025年度事業報告・決算承認を目的とする定時社員総会を開催することが説明され、承認された。

第四号議案 選挙管理委員会委員について

2027～2028 年度役員選挙の選挙管理委員会の委員候補が資料で示された。委員に東條尚子先生、木村聡先生、オブザーバーとして〆谷直人監事が提案された。満場異議なく承認された。

その他、次回理事会について、例年行っている年次大会中の理事会は行わないこと、11月21日（土）を候補としていることが説明された。

以上をもって議事・報告の全てを終了したので、議長は閉会を宣した。

以上、議事・報告事項について本議事録を作成し、出席理事長および出席監事は次に記名押印する。

2026 年 9 月 25 日

理事長 山田 俊幸

2026 年 10 月 1 日

監事 〆谷 直人

2026 年 10 月 5 日

監事 菊地 春人